

## はじめに

この白書は、舞鶴市が推進している“低炭素社会の実現”、“循環型社会の確立”、“自然との共生社会の確立”、“良好な生活環境の確保”、“協働社会の推進”に向けた取り組みなど、多岐にわたる環境保全対策を市民の皆様にご紹介するとともに、舞鶴市の環境の現状について理解を深めていただくため、平成12年から発行しています。

多くの皆様に本書を活用していただき、私たちの環境を守り育てる活動の一助となれば幸いです。

## 舞鶴市の概況

### ■ 地勢

舞鶴市は本州のほぼ中央部、日本海が最も深く湾入した京都府北東部にあります(右図)。

若狭湾に湾口を開く舞鶴湾は、古来、波静かな天然の良港として利用されてきました。また、約120\*に及ぶ海岸線は岬と入り江が入り交じったリアス式海岸を形成。若狭湾国定公園に指定されるなど景勝地としても知られています。

市域の約8割は山地と丘陵が占め、市境には青葉山、三国岳、弥仙山、赤岩山など標高600\*前後の山々が連なっています。そのうち青葉山は若狭湾国定公園に、赤岩山・由良ヶ岳は丹後天橋立大山国定公園に指定されています。

一方河川においては、京都府内最大の流域面積を持つ一級河川・由良川をはじめ、伊佐津川、与保呂川などの中小河川が市内を貫流。その流域に帯状の平野部を形成しています。また、舞鶴湾に注ぐ河川の大半は市内にその水源を持っています。

そのほか、江戸時代に御水道(上水道)として田辺城やその城下町で愛用された『真名井の清水』や地元住民の生活を支えている『大杉の清水』(ともに平成の名水百選=環境省)、「与保呂の水源地」(近代水道百選=厚生省)とその周辺(水源の森百選=林野庁)といった水に関わる名所が市内に点在。「稚児ヶ滝」や「温気ヶ宇呂滝」など伝承を有した滝も多くあります。

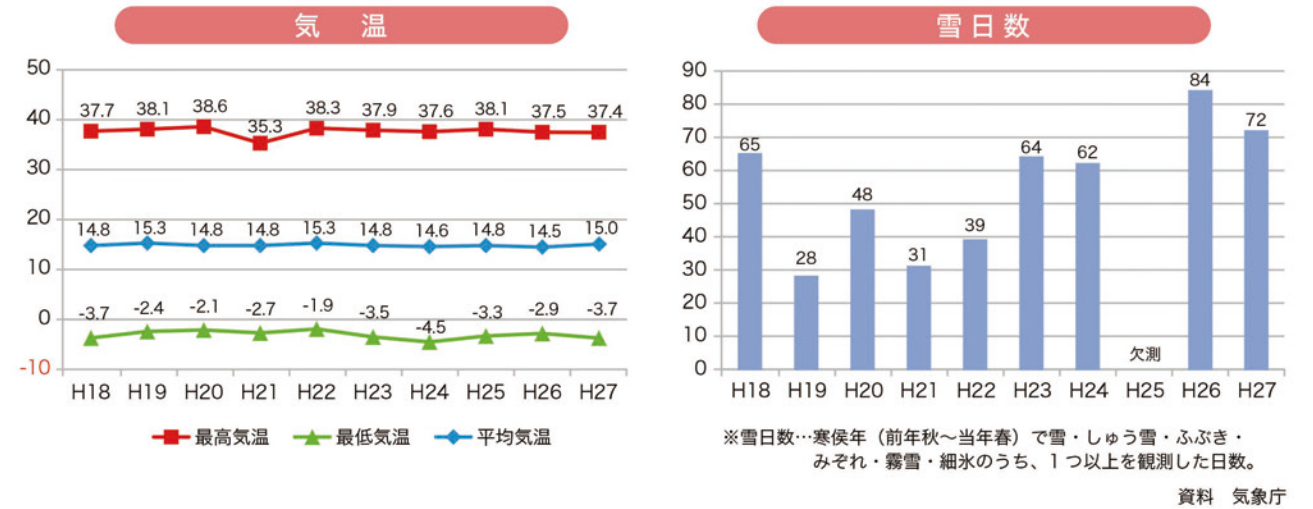


| 経度                | 緯度                               | 面積(km <sup>2</sup> )        |
|-------------------|----------------------------------|-----------------------------|
| 東経135度<br>10分～29分 | 北緯35度23分<br>～36分(成生岬)<br>43分(小島) | 342.1<br>(京都府総面積の<br>約7.4%) |
| ひろがり              |                                  | 海岸線(km)                     |
| 東西(km)            | 南北(km)                           | 119.9<br>(概算)               |
| 29.7              | 24.9(成生岬)<br>37.0(小島)            |                             |

資料 市都市計画課

### ■ 気候

気候区は日本海気候の山陰区に属します。春季は南東風のフェーン現象が起こりやすく、夏季は高温多湿で晴天が続く、冬期は対馬海流の影響を受けて気温はあまり低くなりません。しかし、北西季節風のため雨や雪の日が比較的多くみられます。



### ■ 動植物分布

山地には、国指定特別天然記念物のニホンカモシカやオオサンショウウオなど貴重な生物が生息しています。

冠島は「オオミズナギドリの繁殖地」として国の天然記念物に、沓島は「ウミネコ・ヒメクロウミツバメの繁殖地」として市の天然記念物に指定。いずれも希少な動植物が生息する環境を有しており、厳正な保護が必要なことから、平成19年に若狭湾国定公園特別保護区に指定されました。

また、青葉山には固有植物である「オオキンレイカ」(市指定天然記念物)、大浦半島の成生岬には日本最大級の「スタジイ巨木」(市指定天然記念物、幹周13.8\*・主幹9.5\*)、神崎の海岸線には「ハマナス」が生自。舞鶴はまさに自然の宝庫といえます。



成生岬のスタジイ巨木



ニホンカモシカ



オオサンショウウオ



ハマナス



ウミネコ

### ■ 人口等

| 人口 | 男 41,694人 | 計 83,990人 | 世帯数 | 34,709世帯 |
|----|-----------|-----------|-----|----------|
|    | 女 42,296人 |           |     |          |

(平成27年10月1日現在国勢調査)